

さらなる安心・安全なまち白石の実現のために 「防犯カメラを併設した自動販売機の設置及び管理に関する協定」

「災害時における物資供給に関する協定」 締結

9月27日、(一社)安全・安心まちづくりICT推進機構と本市は「防犯カメラを併設した自動販売機の設置及び管理に関する協定」を締結しました。この協定は、人が多く集まる本市施設に設置してある飲料自動販売機に防犯カメラを設置し、安心・安全なまちづくりを進めようとするもので、自治体がこの協定を締結したのは本市が初！この日、白石市防災センターで行った締結式で、同機構の後藤真之代表理事は「白石市さんが進める安心・安全なまちづくりに、少しでも貢献できればうれしいです」とあいさつ。風間市長は「これでまたひとつ、本市に安心・安全が訪れたと思います」と感謝の気持ちを述べていました。

10月14日には、株式会社コメリと本市が「災害時に

おける物資供給に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時に生活救援物資などを、迅速かつ確かな供給を確保するためのもので、仙南2市7町で本市が初めて。市防災センターで行った締結式に出席した株式会社コメリの工藤郁生東北地区本部ゾーンマネージャーは「これまで私たちが培ってきた経験を活かし、災害発生時には、全力を挙げていち早く物資を供給できるようにします。地域の方々と力を合わせて、迅速な災害復旧の実現につなげたいです」とあいさつ。風間市長は「いつ、どこで、どのような災害が起こるか分かりません。この協定のおかげで、いち早く災害地へ物資を送れるようになりました。これでまた、さらなる安心・安全なまち白石の実現に近づけました」とお礼を述べていました。



1_協定締結後、握手を交わすゾーンマネージャー(左)と風間市長 2・3_白石市のミュージアムと本丸広場に設置された防犯カメラ 4_締結を終えた、後藤代表理事(左)と風間市長